

SJクイズ

[問題編]



Q1

平成 26 年の交通死亡事故件数（4013 件）を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ① 人对車両事故の横断中
- ② 車両相互事故の出会い頭衝突
- ③ 車両相互事故の正面衝突
- ④ 車両単独事故の工作物衝突

Q2

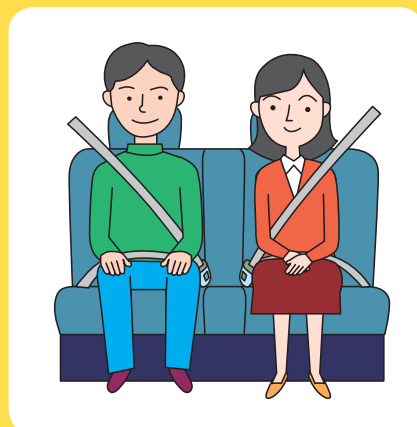
平成 26 年の原付以上運転者（第 1 当事者）による交通死亡事故件数について法令違反別にみると、最も多い違反は次のうちどれでしょう？

- ① 最高速度
- ② 運転操作不適
- ③ 脇見運転
- ④ 漫然運転

Q3

平成 26 年の警察庁と JAF による調査では、一般道路において後部座席同乗者のシートベルト着用率は何% だったでしょう？

- ① 約 25%
- ② 約 35%
- ③ 約 45%
- ④ 約 55%



【使用上の注意】

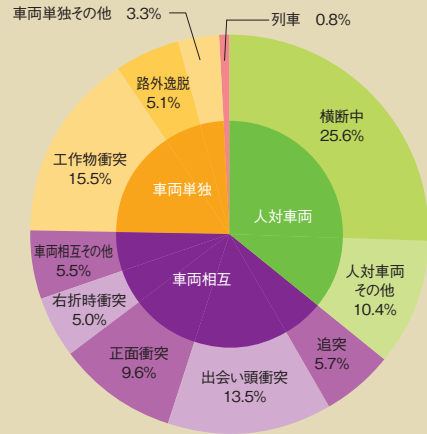
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ① 人对車両事故の横断中

<解説>

平成 26年の交通死亡事故件数（4013件）を事故類型別にみると、最も多いのは「人对車両事故の横断中」（25.6%）である。次いで「車両単独事故の工作物衝突」（15.5%）、「車両相互事故の出会い頭衝突」（13.5%）、「車両相互事故の正面衝突」（9.6%）となっている。車両と横断中の歩行者との事故は死亡事故につながりやすい。こうした事故を防止するために、ドライバー・ライダーは横断歩道のある場所では必ず歩行者保護の意識を持つことが大切である。また、横断歩道以外を渡る歩行者や、赤信号で横断する歩行者がいることにも注意して、スピードを控えた運転を心がけてほしい。

また、歩行者は道路を横断する時、できるだけ横断歩道のある場所を利用し、渡る前には必ず左右の安全を確認してほしい。



●事故類型別交通死亡事故件数（平成26年・構成率）
出典：警察庁資料

Q2 解答 ④ 漫然運転

<解説>

平成26年の原付以上運転者（第1当事者*）による交通死亡事故件数（3639件）を法令違反別にみると、最も多い違反は「漫然運転（前方不注意の中で、集中力低下など内在的要因のもの、居眠り運転含む）」（17.9%）となっている。次いで「脇見運転」（14.0%）、「運転操作不適」（11.3%）と続く。このような違反だけで4割以上を占めていることから、ドライバーが運転に集中し、歩行者や他の車両に注意を払うことが死亡事故の低減につながるという。

*第1当事者＝交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者又は過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者
出典：警察庁資料

Q3 解答 ② 約 35%

<解説>

平成 26年10月1日から10日にかけて実施された、警察庁と JAF（社）日本自動車連盟）との合同による「シートベルト着用状況全国調査*」によれば、一般道路における後部座席同乗者のシートベルト着用率は、35.1%で前年と変わらなかった。

警察庁の資料によると、後部座席の非着用者の致死率は着用者の4.5倍となっている。ドライバーは一般道路でも同乗者の命を守るためにも全ての席でシートベルト着用（6歳未満はチャイルドシート使用）を徹底してほしい。

*調査は一般自動車道全国 779ヵ所で、「営業用プレートの車両、外部に荷台を有する貨物車（含む軽四貨物）」を除く車両に乗車している人を対象としている。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736